

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ごとう醤油、品目：醤油、調味料

1. 輸出における現状と課題

【製造】（各国共通）

国により輸入規制の基準は異なるが、年々規制のハードルは高くなり、各国に対応できる規制基準を把握し、製品製造を行っていく必要がある。生産管理等のスキームを向上させる為ISO等の認証が求められている。

【流通】（各国共通）

展示会等で興味を持っていただき導入されることが多々あるが、導入後の継続が難しく、なかなか定着しない。

【生産体制】（各国共通）

スポットや現在の受注では生産供給は可能ではあるが、業務用の大容量や大量注文などの生産に不安がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【製造】（各国共通）

現地商社やJETRO 等からの情報を小まめに確認し、新しい規制や法律に対応できる体制を整える。

（アメリカ）

ISO認証の取得を目指し、管理体制を整備することで製造から流通までの記録を行う。

【流通】（各国共通）

積極的な展示会出展や商社への商品導入のアプローチ等を行い、安定的な販路の開拓に繋げる。顧客ニーズに合わせた小ロットのOEMで他にない商品の開発提案を行い市場導入を図る。

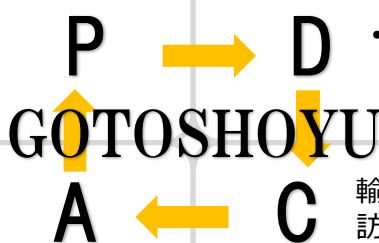
【生産体制】（各国共通）

直近での工場拡張は難しい為、協力会社や委託会社の選定を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

・JETROや取引商社からの情報を基に事業計画の策定
・全国醤油工業連合会、県、市からの支援

・上記のフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造
・改良に着手



・計画に基づき、国内外の展示会への出展やPRを実施

輸出の進捗状況について、商社・現地訪問で把握した販売状況等の評価、アドバイスを踏まえて、必要に応じて計画を見直し

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ごとう醤油、品目：醤油、調味料

4. 輸出目標額

(輸出品目：醤油・調味料)		現状 (令和5年) (2023年4月～ 2024年3月)	目標年 (令和10年) (2028年4月～ 2029年3月)	備考
九州地区	輸出額(千円)	12,000	50,000	
	輸出量 (t)	2.2	9.2	
	輸出先国	中国、フランス、 イギリス	中国、アメリカ、 フランス、EU (フランス除く)、 イギリス、EEU (主にロシア)	
	製造量 (t)	14	21.4	国内製造を含む